



食で育むいのちときすな 食育料理コンテスト

応募総数
1526点

地場産食材を使ったメニューを考えることで、若い世代に食への興味を深めてもらうことを目的に、夏休みの課題として行っている料理コンテストです。今回は、感染症予防のため実技(調理)は行わず、部門ごとの書類による審査を経て、12点が入賞しました。入賞作品はレシピ集を作成するほか、市ホームページ「健康ポータルサイト」、または右のQRコードからご覧になれます。



市ホームページ

☎健康づくり課 94-4616

入賞メニューと受賞者 ※市長賞のみ掲載

小学生の部(野菜を使った朝食にふさわしい一品料理)

「簡単 米粉蒸しパン」



使用した伊勢原産食材

ミニトマト、小松菜、カボチャ

受賞ポイント

タッパーと電子レンジで手軽に作ることができます。米粉を使い、野菜やソーセージなどを入れることで、栄養バランスや彩りが考えられています。



吉住 莉央さん
(石田小6年)

中学生の部(栄養バランスを考えたお弁当)

「夏野菜を使った夏バテ防止弁当」



使用した伊勢原産食材

ミニトマト、キュウリ、ホウレンソウ、オクラ、枝豆、サツマイモ

受賞ポイント

伊勢原産の夏野菜が随所に使われており、食欲がないときも、枝豆や梅干しなどでさっぱりと食べられるように工夫されています。



千葉 遥花さん
(伊勢原中2年)

高校生の部(栄養バランスを考えたお弁当)

「今日も頑張れ!夏バテ知らず弁当」



使用した伊勢原産食材

豆腐、ナス、ピーマン、オクラ、生キクラゲ、シイタケ、ナシ

受賞ポイント

豆腐や生キクラゲ、ナシなどをアイデアあふれる調理法で、お弁当に合う一品に仕上げています。暑い日でもごはんが進むお弁当に、ランチタイムが楽しめそうです。



柳橋 優凜さん
(伊勢原高1年)

2月19日(日) 防災講演会を開催します

「大規模災害 防災リーダーの役割と女性目線による防災対策の必要性」をテーマに、株式会社危機管理教育研究所理事長の国崎信江さんが講演します※感染症の状況などにより、中止する場合は市ホームページや暮らし安心メール、市LINE公式アカウントなどでお知らせします

とき 2月19日(日)午前10時～11時30分

ところ 市民文化会館小ホール 定員 50人(申込順)

申込み 電話で担当へ 締切 2月14日(火)

☎危機管理課 94-4865



国崎 信江さん

相模の大地を望む緑の公園墓地
宗旨・宗派不問

おかげさまで
大好評
受付中

1.0㎡ 施工例

お手頃価格 墓地使用料 墓石工事代

126.9万円より

年間管理料(別途)が安心価格の2,200円

公営 相模メモリアルパーク 0120-000-375

〒243-0308 神奈川県愛甲郡愛川町三増109-2 石材センター営業時間 8:30～17:00(水曜定休)

(一財)神奈川県教育福祉振興会指定 (一財)神奈川県教育会指定 (一財)神奈川県厚生福利振興会指定
神奈川県市町村職員共済組合指定 許可年月日/平成5年7月30日 許可番号/神奈川県指令生衛 第131号

学生リポート

産業能率大学連携企画

包括協定を結んでいる産業能率大学の協力のもと、学生の視点から、さまざまなことをリポートします

生活支援コーディネーターの活動①北部②東部③南部④中部⑤西部

地域包括支援センターで活躍する 生活支援コーディネーターに密着

少子高齢化の現代社会において、歳を重ねても住み慣れた地域で生き生きと暮らすことができるスタイルに注目が集まっている。

市内では5カ所の地域包括支援センターに生活支援コーディネーターが配置されており、地域のさまざまな活動をつなげる調整役を担っている。それぞれの活動内容の一部を紹介したい。

①オレンジカフェ(北部)
月に1度、認知症の人やその家族が集まり、お茶を飲みながら気ままに話をする「オレンジカフェ」を開催している。コーディネーターは、進行役に徹して意見をまとめ、

②花の会(東部)
成年後見に関する専門家の解説を参加者が理解できるように噛み砕いて説明していた。

③ラジオ体操とコグニサイズ(南部)
地域住民の協力によりラジオ体操やコグニサイズが行われていた。コロナ禍で実施できずいたが、

④ベルひまわり(中部)
視覚障がい者のサークルによるハンドベルの演奏が行われていた。曲のメロディーを聴いて鳴らしているという。仲間と協力して1つのメロディーを奏でる姿は圧巻だった。

⑤ダイヤビックと朝市(西部)
ダイヤビックとは、高齢者に向けた介護予防のエアロビクスのこと。この教室と自治会主催の朝市が合同開催されており、バターナッツカボチャやジャンボニンニクなど珍しい野菜が販売されていた。

この取材で私が一番感じたことは、高齢者が必要としていることは「介護」ではなく、「自立支援」であるということ。年齢に関係なく学習・成長しようとする姿勢をどう支援していくかが大切だ。

愛着のある地域でいくつになっても元気に生活できる喜びを感じられるために、何ができるかを改めて考えるきっかけになった。

自主的な地域の枠組み

この取材で私が一番感じたことは、高齢者が必要としていることは「介護」ではなく、「自立支援」であるということ。年齢に関係なく学習・成長しようとする姿勢をどう支援していくかが大切だ。

愛着のある地域でいくつになっても元気に生活できる喜びを感じられるために、何ができるかを改めて考えるきっかけになった。

自主的な地域の枠組み

年間約6,900件のご葬儀をお手伝いする平安レイサービス(株) 伊勢原市内の《建物貸切型》葬祭施設をご紹介します

1 湘和会館伊勢原
伊勢原市伊勢原3-5-6 毎日10～16時 開館 駐車場 完備
小田急線「伊勢原駅」北口より徒歩8分

2 湘和会館愛甲石田
小田急線「愛甲石田駅」北口より徒歩2分
伊勢原市石田596-1 月・水・土・日曜10～16時 開館 駐車場 完備

3 湘和会館鶴巻
伊勢原市笠窪421-2 月・水・土・日曜 10～16時 開館 駐車場 完備

見学や相談は24時間365日対応いたします 0120-24-8130